施策評価シート

評価年度	平成30年度	事業実施年度	平成29年度	施策主管次長名	政策推進部次長　野々山　清
施策番号	73	施策名	健全で安定した財政運営の推進	総合計画掲載頁	136
関係課名	財政課、税務課、納税課				

1. 施策の概要

			対象指標名	単位	H28実績	H29計画	H29実績	H30計画	総計目標
施策の目的	対　象	市財政	①歳入決算額（普通会計）	千円	27,929,274	22,407,403	26,400,163	23,565,806	―
			②歳出決算額（普通会計）	千円	25,349,169	22,407,403	23,908,100	23,565,806	―
			③市債残高（一般会計）	千円	8,451,974	7,572,251	7,548,250	7,099,354	―
	意　図	・財政構造を健全化させ、安定した財政運営を行う ・市税の公平かつ適正な課税と収納率を向上させ、財源の確保を図る	成果指標名	①経常収支比率					
				②自主財源比率					
				③実質公債費比率（3か年平均）					
				④市税収納率					

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H28計画	H28実績	H29計画	H29実績	H30計画	総計目標
①	経常収支比率	%	76.0	73.9	84.8	81.1	80.0	―
	指標設定の考え方と把握方法	財政構造の弾力性を判断する指標で、決算値から算定						
指標	成果指標名	単位	H28計画	H28実績	H29計画	H29実績	H30計画	総計目標
②	自主財源比率	%	79.0	82.1	79.5	81.9	79.1	―
	指標設定の考え方と把握方法	市政運営の自主性と安定性を判断する指標で、決算値から算定						
指標	成果指標名	単位	H28計画	H28実績	H29計画	H29実績	H30計画	総計目標
③	実質公債費比率（3か年平均）	%	2.8	2.6	3.1	3.1	3.4	13%以下
	指標設定の考え方と把握方法	財政の硬直化を判断する指標で、決算値から算定						
指標	成果指標名	単位	H28計画	H28実績	H29計画	H29実績	H30計画	総計目標
④	市税収納率	%	97.2	98.4	97.4	98.4	97.5	97.5
	指標設定の考え方と把握方法	市税の収納状況により、税の公平性と自主財源の確保の状況を納税課の資料により把握						

3. 施策の評価

項目		評価のコメント
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	納税義務を果たすとともに、住民個人、住民自治組織、ボランティア等の自助、共助により地域の課題でできることは地域自らが解決する。
	行政	市民ニーズを的確に把握し、自主財源を確保し、限られた財源を効果的な事業に配分する。
達成度評価	近隣との比較	西三河九市で比較すると、経常収支比率は2位、自主財源比率は1位、実質公債費比率は7位、市税収納率は4位であり、いずれも良好な数値を示している。
	過去3年間の実績との比較	経常収支比率については、80%以下の目標に対し、前年から悪化し82.1%を見込んでいるが、自主財源比率や実質公債費比率も含めて、十分に健全な財政状況にある。
現状と課題		・本市の法人市民税収は、企業業績の好調により平成27年度以降大きく増加しているが、景気の動向や企業業績の好不調により大きく変動し、財政指標にも大きく影響する。 ・法人市民税の一部国税化や法人税率の引き下げに伴い、今後の市税収入の大幅な減少が見込まれる中において、財政調整基金やその他の目的基金への計画的な積立と活用、積極的な財源の確保、更なる行政改革によるコスト削減などにより安定した財政運営を行う必要がある。
今後の取組の方向性及び次年度の取組		・将来にわたって安定した財政運営を行うためには、経済の動向に大きく左右されず財政構造の弾力化を維持する必要があるため、経常経費の削減や経営資源の最大活用に取り組む。 ・今後見込まれる義務的経費の増大や公共施設等の大規模修繕に備え、計画的に基金の積立を行うとともに、昨年度策定した公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化と計画的な更新に取り組む。
		(31年度の取組) ・事務事業評価による事務事業の見直し。 ・予算編成に際して行政評価や実施計画を反映させるなど計画的な財政運営を継続する。 ・優先順位を決めて、公共施設等総合管理計画に基づく個別計画を順次策定する。 ・市税の収入未済額縮減のため、滞納整理を愛知県地方税滞納整理機構に委託する。
		(31年度の主な事業)

市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成29年度市民アンケート調査による